



西尾ロータリー Weekly

第2970回例会 令和元年5月21日(火) 天気:雨のち晴 No.41

会長/ 鳥居祥雄 幹事/ 石川哲朗

クラブ会報委員 杉浦 広 / 永江義澄 / 三浦康彦

例会日: 火曜日 12:30 例会場: 西尾コンベンションホール B

事務局: 西尾市永楽町 3-45 西尾信用金庫中央支店内 204

TEL: 0563-54-7770 FAX: 0563-54-7050 URL: <http://www.nishio-rotary.org>

2018-19 年度テーマ



【本日のプログラム】

司 会 岡田雅彦例会運営委員長 齊 唱 「奉仕の理想」

スピーカー 会員卓話 岩瀬 淳治 君 「クレーン設備の基礎知識」

食 事 えんとつ

〔会長挨拶〕



ロータリーの友 12月号に掲載の中部大学の武田邦彦教授の文章を読みました。今、世界は転機に差し掛かり、国や政治のあり方、人工知能のAIの登場に伴い仕事のやり方や医療のあり方も変わってきています。地球全体が大きな変革期なのではないか、と書いてありました。様々な政治の問題などでもそう感じます。

寿命の長さについても記載がありました。100年前の日本人の平均寿命は男女ともに43歳でしたが、2015年の統計では男性が約81歳、女性が約87歳、いわゆる人生100年時代がどんどん近づいています。昔は、50歳までが第1の人生、それ以降は無いはずだったものが、寿命が延びたことによって第2の人生設計を描く必要が出てきました。教授は、第2の人生を充実して生きていく必要がある。仕事を持ち、人から感謝されることを重ねていけば寿命が延びる、とおっしゃっています。必要と言われているうちは寿命が延びるそうです。先週のスマイルで、今限りで社長を引退することを発表しましたが、これでロータリーの会長も終わると自分は早死にするかもしれないと感じます。女性に比べて真面目で融通性に欠ける男性の寿命を延ばすコツは、楽しくリラックスすること、男女仲良く共生していくと医学的にも長生きするそうです。

鳥居年度の終了が近づいてきました。小澤年度が本格的に活動し始めています。昨年の中頃は同じように慌しく過ごしていたことを思い出します。小澤年度が活発に活動できるように我々も協力したいと思えます。

〔委員会報告〕

〈出席委員会〉金原健志委員長

本日の出席数 57名

4月23日のメークアップ 6名

訂正出席率 91.3%

〈スマイルボックス委員会〉萩原竜治委員長

鳥居祥雄君 岩瀬淳治君の卓話楽しみにしています。

石川哲朗君 岩瀬淳治君、今日の卓話たのしみにしています。時給の高い人ばかりの前でたいへん金額的に高いお話を期待しています。

山崎周彌君 ①岩瀬君のスピーチ期待していま

食 事 「えんとつ」



す。②6月の誕生祝、親睦委員会に感謝!

杉浦 広君 田中先生には母に続いて嫁さんもお世話になりました。結婚記念日の花ありがとうございました。岩瀬君スピーチ拝聴します。

大内基浩君 淳君、今日の卓話頑張ってください。

松本容明君 岩瀬淳君、卓話楽しみにしています。頑張ってください。

岩瀬正広君 淳くん、やっと卓話きましたね！とても親睦メンバーとは思えない態度の淳治様、寝ないで聞いています。

岩瀬智一君 淳治さん、卓話頑張ってください。

永江義澄君 淳さん、今日の卓話がんばってください。いつもの様にスター性タップリの話を期待しています。帰らないぞ！

榊原茂太郎君 岩瀬淳治君、本日の卓話心待ちにしております。楽しみにしています。ガンバレ～！！

犬塚富雄君 淳さん卓話謹んで拝聴させていただきます。楽しみ!!

浅岡直幸君 ジュンくんのLIVEに参加出来ず残念、がんばってください。

朝岡 正君 淳君がんばってください。先日、兄貴にお世話になりました。

三浦真澄君 岩瀬さん卓話頑張ってください。

芦田辰行君 淳治先輩、卓話楽しみにしています。

小丹枝和二君 淳さん、卓話がんばってください。

谷崎直樹君 淳さん、本日は卓話たのしみにします。

山崎克弥君 先日、地方紙ににやけた顔が載りました。失礼しました。

岡田雅彦君 5月17日の東海税理士会西尾支部定期総会にて新支部長としてご承認いただきました。加藤浩道先生のあとをしっかりと引き継いでいきたいと思っております。加藤浩道先生には今後ともご指導賜りますよう、心からお願い申し上げます。また、山崎秀夫西尾法人会会長様には親睦会にてご挨拶を頂きありがとうございます。ありがとうございました。

加藤浩道君 東海税理士会西尾支部の支部長を無事退任することができました。次は西尾クラブの岡田雅彦さんに託しました。

〔卓話〕

会員卓話 岩瀬 淳治 君



「クレーン設備の基礎知識」

私の勤める中京テクノサービスは親会社のクレーンメーカーである鍛冶賢工業株式会社より分社した設備保全・メンテナンスを担当する会社です。メンテナンスサービス、工事関係、設計・技術開発の3つを柱にしています。鍛冶賢工業は水門などの治水関係、製造業などで使われている天井走行クレーンなどの天井ハンドリングのシステム系をメインに、クレーンメーカーには珍しく、多岐にわたる業種のお客様と取引をしている会社です。鍛冶賢工業の創業は昭和20年、現社長は私の兄が務めています。

クレーンとは、荷を動力でつり上げ(人力によるものは含まない)、水平に運搬することを目的とする機械装置(人力によるものを含む)と定義されています。クレーンには、天井クレーン、ジブクレーン、橋形クレーン、アンローダ、ケーブルクレーン、テルハ、スタッカー式クレーン、その他と様々あります。

クレーンは意外と事故が多いものです。事前の導入計画が不十分な為に、実際に必要な仕様とは異なるものが導入されることがあります。このような事故は、安易な定格荷重の決定と作業環境や使用頻度を考慮しないまま見積りを比較検討し、誤った仕様のまま導入してしまうことによって発生します。これらは極端に故障回数が増えたり、寿命が短くなったり、場合によっては重大災害を引き起こす可能性があります。導入前には荷重回数と常態として吊る荷の重さを十分に確認してください。これは法律で決まっている事項です。

平成29年度愛知県のクレーン等を起因とした死亡災害は1名でした。岐阜県では、クレーンから製品を地上に下ろす際、製品であるL字型外壁材が倒れ、脚立をささえていた人がクレーンのサドルと製品に挟まれる事故などが起きています。災害が起きないように、操作ミスが無いように細心の注意をはらって作業をしていただきたいと思います。